

タイトル	知の産学連携と事業創造：特集に当たって(2)(<特集>特集II 経営学部開設記念シンポジウム)
著者	早川，豊
引用	北海学園大学経営論集，1(4)：171
発行日	2004-03-00

知の産学連携と事業創造

特集に当たって(2)

北海学園大学では、本年4月に新たに経営学部が増設された。その記念として、2003年9月20日に学部開設記念のシンポジウム（公開）「知の産学連携と事業創造」というテーマで実施した。

テーマの趣旨は次の通りである。

グローバル化と情報ネットワーク化の進展は、ビジネス界ばかりではなく大学に対しても大きな影響を与えている。こうした中で、大学の有する知の遺産、知の創造の成果を社会にどのように還元し活用するかは、地域のビジネス経済発展に資するためばかりではなく、大学にとっても重要な課題事項である。

本シンポジウムは、そうした課題に対して、経営学の視点から、既存企業の埋もれた経営資源をどのようにしたら活用でき、それを企業の競争優位性に結びつけられるかについて、とりわけ北海道企業が弱いとされてきたマーケティング戦略、ブランド構築などを中心に検討し、地域のビジネス経済に知の産学連携による新しい事業創造の可能性を明らかにすることを目的とする。

上記テーマに対して、内外の著名な教授、実務経験豊富な本学出身の社長、産学連携に詳しいジャーナリストに講師にお招きができ、成功裏に終わった。パネリストは、恩蔵直人（早稲田大学 商学部教授）、岡田 実（北海道新聞社 経済部長）、石井 耕（北海学園大学 経営学部教授）、及び似鳥昭雄（株式会社ニトリ 代表取締役社長）の4氏からなり、モデレーターは、大月博司（北海学園大学 経営学部教授）が担当した。このシンポジウムのパネリストの講演は、貴重な示唆に富む内容を多く含まれているので、読者の参考にされたいとのことから、論集委員として、これを特集として掲載することにした。前号では、パネリスト4名の基調講演を掲載し、本号（学部開設記念号）では、シンポジウム討論の内容を掲載することにした。

論集委員長 早 川 豊